

2016年10月12日

町田市長 石 阪 丈 一 様

町田市環境審議会  
会長 吉村 義隆

「第二次町田市環境マスタープラン」、「町田生きもの共生プラン」  
2015年度進捗状況の点検評価について（報告）

2016年9月8日に開催した第67回町田市環境審議会において、「第二次町田市環境マスタープラン」及び「町田生きもの共生プラン」2015年度進捗状況の点検評価を行いました。その結果を、下記のとおり報告します。

記

**総括**

2012年4月策定の「第二次町田市環境マスタープラン」は、2016年度に前期期間が終了し、2017年度から後期アクションプランにより、望ましい環境像「水とみどりとにぎわいの調和した環境都市 まちだ」の実現を目指すこととなります。施策の着実な進捗を図るため、妥当性・客観性が担保された評価手段を選択する必要があると考えます。また、市民の環境に対する意識をよりの確に把握し、施策に反映していくことが求められます。

「町田生きもの共生プラン」は、2015年度から運用を開始し、順調なスタートを切ったと言えます。今後は、生物多様性の情報拠点となる生物多様性センターのあり方を継続して検討し、その他の取り組みをより深く発展させていく必要があります。

それぞれの計画について、主な意見は以下のとおりです。

**「第二次町田市環境マスタープラン」について**

- ・ 施策の進捗度は、専門家による評価を受けることが望ましい。
- ・ 市民意識調査は、時流にあわせ、また市民への啓発効果を考慮した設問を検討してはどうか。
- ・ 市民の興味を引く情報の発信と発信方法を検討すること。

**「町田生きもの共生プラン」**

- ・ 生物多様性センターは、情報の収集に加え、資料の収集・発信機能が重要である。ホームページ上の開設に加え、実際の拠点整備の検討を継続すること。
- ・ 環境教育の担い手となる、専門家やトコロジスト等の人材育成を進めること。
- ・ 都が所有している河川情報など、所管が異なる情報の収集・集約の手段を検討すること。
- ・ 各プロジェクトの工程表は、より具体的に年間ごとの方策を記載すること。